

# 令和6年度若者活躍局政策提案書一覧

区分	提案名称	提案概要	提案者
<b>1. 移住・定住、関係人口創出</b>			
<b>I 移住・定住</b>			
1	ふるさと鳥取アプリ「とりふる」の利用促進	登録機会の増加、就活にまだ関心がない学生にも響く情報掲載、ログインポイント制の導入により、「とりふる」の利用を促進する。	濱崎 大輝
2	産官学連携を通した若者定着・人材育成	高校生の頃から県内の大学や企業等を知るきっかけづくりの場として、県内で学ぶ若者(高校生・大学生等)と大人(企業等)が一同に集まる見学・体験型の交流会を開催する。	河合 真希
3	UIターンコンシェルジュの創設	移住潜在層である都市部在住の鳥取県にルーツのある者(鳥取県出身者、県内大学卒業生)をサポートする「Uターンコンシェルジュ」を創設する。	鹿田 拓也
4	空き家対策の促進	空き家を賃貸用に取得する事業者への補助など市町村への補助制度を拡充する。	星加 有希奈
5	移住定住促進と関係人口増加を目的とした活動への移動費支援	様々な交通手段を対象とした移動費支援制度があまり知られていないので、必要な人に求められる情報が届くようにする。	磯江 知弥
6	県内移住支援団体の情報提供促進	移住者に県内各地にある移住支援団体情報が行き届くよう、移住支援団体の情報誌を作成する。	木村 海翔
7	就業体験の情報を共有化するサイト創設	県内企業の職業体験や企業見学の感想が掲載されたまとめサイトをつくる。	宮本 博斗
8	ランドバンク事業の推進	空き家だけでなく隣接地や道路等と一緒にして空き家除去後の土地活用を検討するランドバンク事業を推進する。	石井 智志
<b>II 関係人口創出</b>			
9	若者に響く情報発信！ YouTubeショートの強化等	若者がよく利用するYouTubeショートの活用や、長尺動画でもエンタメ要素の重視など最後まで見る工夫をして、鳥取県の魅力を情報発信する。	中口 優太朗 星山 愛登
10	バーチャルとっとりの有効活用	バーチャルとっとりの中に、県内クリエーターの作品を展示するバーチャル美術館をつくり、県立美術館と連携して、関係人口のきっかけづくりの場とする。	小林 大二
11	鳥取の魅力発信に向けたショート動画クリエイター養成講座	県内で動画発信者を育成して鳥取の魅力を発信することで、鳥取の動画コンテンツを充実させて県外者の目にとまる機会を増やし、観光客誘致に繋げる。	酒本 勇太
<b>2. 子育て・教育 に関する提案</b>			
<b>I 子育て</b>			
12	子育て王国とっとりアプリの改修	SNSのように気軽に楽しく見られるよう掲載内容を工夫したり、新たな機能を追加するなど、子育て王国とっとりアプリの改修を行う。	井上 栄
13	子育て応援パスポートの対象拡大	子育て応援パスポートの支給対象を別居している祖父母に拡大することで、孫育て世帯のサポートを増やし、子育て世帯の負担を軽減する。	磯江 沙季
14	「鳥取のおばあちゃん家」の開設	公民館などを活用し、地域の高齢者等が遊びを教えたり、大学生が勉強を教えたりできるような子どもの居場所づくりを推進する。	檜山 琴音
15	全天候型遊戯施設の増加	天候を気にせずに遊べられる施設を増やす。	磯江 沙季
16	鳥取県全国トップレベル子育て支援	妊婦検診や子どもの医療費、保育料、授業料、給食費など様々なフェーズでの手厚い支援を行う。	鈴木 倦温
<b>II 教育</b>			
17	ふるさとキャリア教育の一層の充実	学んだことを県内の学校間で共有する場でもある「ふるさとキャリア教育フェスティバル」の開催方法や内容等を工夫・充実させる。	倉内 言実 坂上 純臨
18	「Study Café」の開設	駅周辺の空き家・既存施設等を活用して、JRやバスの待ち時間などに高校生等の若者が自由に勉強できる居場所をつくる。	齊尾 さくら 高橋 彩 梅田 陽斗
19	塾のない地域に寺子屋を開設	塾のない中山間地域に住む小中学生が気楽に来て無料で勉強できる機会を提供する。	山名 純真
20	子どもたちに鳥取を伝える～子どもの頃の経験を大切に～	幼い頃から、楽しみながら鳥取のことを知ることができる様々な体験機会をもっと提供する。	坂田 志歩 森田 輝
<b>3. 持続可能な地域づくり に関する提案</b>			
<b>I 誰ひとり取り残さない地域づくり</b>			
21	バリアフリーな社会を目指して！ 若者向けあいサポート運動の普及促進	県内大学生のあいサポート運動の認知度を向上させることを目的として、障がいのある若者と県内大学生等との交流会を開催する。	稻葉 恵子
22	障がい者の「はたらく」選択肢を増やす～起業の選択肢をすべての人に～	障がいの有無に関わらず、すべての人に起業の選択肢があることを、ロールモデルの提示や啓発活動等を行って広めていき、障がいのある方の「はたらく」選択肢を増やす。	横山 愛未
23	運転免許返納後支援センターの設立	免許返納の相談や返納後の定期券・タクシーチケットの購入手続き等の支援を行う体制を充実させる。	松島 一誠
<b>II 地域活性化</b>			
24	若者の投票率向上	若者の投票率向上を目的とした学生プラットフォームの創設や若者による選挙啓発など、若者の政治参画等を後押しする取組を推進し、若者の主権者意識を高める。	藤原 洋希
25	学生×地域活動のマッチング向上	若者と地域を繋げるサイトを創設して、地域で活動したい若者と若者のアイデアや行動力がほしい地域とのマッチングを行い、交流機会を創出する。	石川 妃奈穂
26	空き店舗出店に向けたコミュニティメンターの創設	地元商店街や創業支援者とつながって、出店前の相談や実地調査のサポート、出店後の経営指南等を行う「コミュニティメンター」を創設する。	井手野 貴将
27	公共交通の利用促進	市街地の多様な魅力と連携した公共交通利用の情報発信やJRの増便やチケットレス予約時の現金支払可能化の働きかけを行う。	杉本 僚哉 泉 亮太